

第13回 宇和島市立伊達博物館建替委員会 会議録

- 日 時 令和3年12月3日(金) 15:00~16:40
- 場 所 中央公民館 2階 多目的室
- 出席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員(順不同、敬称略)]
二宮 信彦、廣瀬 孝子、木村 宗慎、有間 義恒、宮部 雅輝、
日前 賢一郎、二宮 一之
- 欠席者 土居 哲也、牧野 勲、三好 めぐみ
[事務局]
教育部長
文化・スポーツ課長
伊達博物館(館長、課長補佐、係長、主任)
- 議 事 (1) 伊達博物館改築事業フローチャートについて
(2) 特定結果について
(3) その他

次 第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 伊達博物館改築事業フローチャートについて
 - (2) 特定結果について
 - (3) その他
- 3 閉会

■会議の記録

1 開 会

(事務局による司会進行)

ただいまから第 13 回建替委員会を開催いたします。

本日の出席委員 10 名中 7 名で、過半数を超え、会議が成立していることをご報告させていただきます。

それでは、委員長の木村宗慎氏よりご挨拶をお願いいたします。

委員長

(委員長挨拶)

今回はこの間の建築及び展示設計、CM 業務の業者選定について、事務局がご説明いただけるということ、その内容について、皆様からご意見いただきたくお集まりいただきました。有意義な議論が進められればと思いますので、よろしくお願いいたします。

2 議 事

(1) 伊達博物館改築事業フローチャートについて

委員長

議事の 1 番、伊達博物館改築事業フローチャートについて、配布資料を交えて、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、今後のスケジュールについてご説明をします。

- ・令和 3 年度 11 月以降の説明を簡単にさせていただきます。
- ・現在、基本設計に入っており、設計期間は 8 ヶ月を予定しております。
- ・令和 4 年 6 月から実施設計に入り、実施設計期間は 10 ヶ月を予定しております。
- ・その後、令和 6 年 1 月、新博物館建築工事に入り、工事期間は 18 ヶ月を予定しております。
- ・あわせて、令和 6 年 1 月から、展示設計製作工事に入り、工事期間は 24 ヶ月を予定しております。

- 事務局
- 事期間は 24 ヶ月を予定しております。
- ・令和 7 年 6 月から、枯らし期間を約 16 ヶ月予定しております。
 - ・令和 9 年春に開館予定となっております。
 - ・以上簡単ですが、このような工程で今後進めさせて頂く予定です。
- 委員長
- ・この件について、ご質問ございますか。特に無いようですので、次の議事を事務局お願いします。

(2) 特定結果について

- 事務局
- ・それでは各設計のプロポーザル審査会の特定結果について、ご説明をさせていただきます。
 - ・まず、建築設計について、令和 3 年 9 月 3 日金曜日に、建築設計業務のプロポーザル審査会を実施しました。
- (事務局より資料内容はHP公開のとおり)
- 委員長
- ・ご用意いただいた資料は、この会社が選ばれるに至った経緯説明ということですね。
- 事務局
- ・そうです。
- 委員長
- ・この内容について皆さんから、何かご質問はございませんか。
- A 委員
- ・ショップは、あるんでしょうか。
- 委員長
- ・ショップというのは。
- A 委員
- ・売店というか、土産物売り場みたいなものです。

- 事務局
- ・土産物売り場の設置は、アイデアとしてあります。現段階で、それをどの位置に、どのぐらいの範囲でというところはこれからになります。
 - ・それと外側の縁側ループの一番右端に、ちょっとした販売やカフェもできるのではというふうにも思っています。敷地建物の中で、そういった販売ができるエリアというのは、作っていく前提としております。
- 委員長
- ・他に、ございますか。
- B 委員
- ・わかる範囲でいいのですが、博物館の敷地を一周すると、どれぐらいの時間を要するものでしょうか。
 - ・休館日も有効利用できるというのは、例えば会議室で、何かができるということなのではないでしょうか。
- 事務局
- ・休館時の有効利用について、例えばこのセキュリティラインで、開館時間以外は機械警備をしていると利用できなくなります。カフェや会議スペースは、閉館時よりも少し長めに使用時間を設定するとか、敷地内のすべての施設が閉館となるというのはどうだろうということで、博物館自体の営業日数と営業時間等については、今後の検討課題です。
- 委員長
- ・B 委員さんは、民間での利用、つまり様々なイベントや、会議スペースの利用も含めて利用可能かを聞いたかたのではないのでしょうか。
 - ・その利用について、時間帯から各曜日に至るまで、自由度が高いスペースがあった方がいいのではないかという提案、またそういうことが考えられているのかということに対するご意見ということですよ。

B 委員

- ・ そうです。建築に関しては全く分かりませんので、ただ単純に、新博物館を、展示してあるいろいろなものを見るだけで終わるのは、非常に寂しいというか、もうそれだけだと、ちょっとつまらないと思います。
- ・ だから展示以外にも有効利用できるスペースがあり、誰かが使える、いつでも人を受け入れる環境の施設であることも実現していただきたい。特に県外からお客さんが来たときに、休憩できるスペースがないのかなと。カフェも楽しみの一つです。ぜひ実現してほしい。

事務局

- ・ それは博物館エリアとして、それを想定してでしょうか。
- ・ 設計でお願いしてあるのは博物館だけを見るので完結するのではなく、外構と児童公園、天赦園や、偕楽園も含めてというところは、課題の一つとして、とらえておりますので、博物館の中を見るだけで完結するとは思っていません。
- ・ 館内に入ってゆっくりしていただけるという大きなコンセプトを持っておりまして、可能であれば、長く滞在していただきたい。それから公園でイベントなどの行事があれば、ゆっくり楽しんでいただければということ、今後のテーマとしていきたいと思っております。

委員長

- ・ ご説明など、わかりましたか。

B 委員

- ・ シンプルでいいです。そういった工夫の中で、単純にキャパとして、今の博物館との広さの比較はどのくらいでしょうか。

事務局

- ・ 建物の中の展示会場についての広さですか。

B 委員

- ・ そうですね。

- 事務局
- ・展示室のスペースとしては、今の伊達博物館と同じというような状況です。展示のコンテンツで工夫をしたいと思えます。広さとしては、700㎡です。
- B 委員
- ・わかりました。
- 委員長
- ・展示に質問がいきましたが、展示室は、1階2階で常設展示と企画展示に分かれる、いわゆる大事な資料という文化財の展示に応える2階部分の展示と、1階部分の展示という考え方で、2階部分の文化財的な展示のスペースが現在の博物館の展示スペースに対してどのぐらいの減少になりますか。
- 事務局
- ・その割り振りについては、まだ少し明確でないところがありますが、どうしても公開承認施設仕様というところで、ある程度の面積の制限を受けてしまう中、いろんなコンテンツを含めて工夫をしていって、ボリュームを減らさないようにと思っています。
- 委員長
- ・伊達家のご意向もあると思うんですけど、例えば1階の常設展示は、伊達家の資料の貸し出しは、難しいという話になるのですか。
 - ・1階の常設展示にも現物資料もあるという工夫は、ぜひ、積極的に学芸員も含めてしていただきたいというのが、要望の一つです。
- 事務局
- ・提案ではまだ2階建てを受けていますけれども、本当に2階建てが正しいのかということを検討しております。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 階の常設展が、展示業者によるところの複製品とか、作り物の展示で、フェイクが並んで、ただなんかビジュアル中心で、今でいうところの映像視覚効果とか、そういう作り物的な展示にばかりにならないようにしていただいた方がいいかなと思っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 階建てになると、2 階建てで、そういうのも生かしながらということも検討が強くなると思います。逆に言うと 1 階をそういうピロティーマイにすると、広場からの連綿性が損なわれる。そのメリット、デメリットは今ちょっと精査しながら行っている段階です。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その辺、無料の常設だから、そういうある種の、見せ物を並べるような展示にならない方が、いいのではないかなと思っていますという意見です。 ・ 一つの理由は、製作時に、莫大な予算をかけて、そのようなものを作り込んだとしても、5 年も経てば、古くなってしまいうので、宇和島市がそういう先端技術を入れた、例えばプロジェクションマッピングなども含めて、3～5 年もたてば古くなってしまいうような計画を含めて、この博物館の維持コストの中に、果てしなくそういう常設エリアとかの展示のコンテンツも、コストをかけ続ける意思があたりなら、それでもいいんですけど。 ・ 難しいということであれば、そこの要件整理をかなり精査して、業者さんと臨んでいただかないと、開館した令和 9 年は喜ばれるが、もう令和 12、3 年になったら、もうあれ古いと言われかねないので、そのあたりをぜひ、今後の要件整理として、検討をしていただきたいと思います。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・展示については、展示設計の丹青社が専門だとは思いますが。 ・来館者が最初に来て、2回目3回目はいつも通りの内容だねと言われる。デジタル物はすぐ変わるし、出てからすぐに古くなるので、やはり一番色あせしないのが実物っていうのは、委員長のおっしゃるとおりです。 ・パブリックコメントの時の質疑のなかで、1階は見世物だけかという話がありました。環境の変化を受けにくい陶器や鉄器で、複数の対にあるものであるならば、実物展示をする等の工夫を考えています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・複製品とか、フェイクで、それが有効な場合もあります。 ・展示のジオラマ的なものを作るのに、変なものにコストをかけるぐらいなら、展示会でも耐えうるような展示ケース。少なくとも、常設室にも置く予算をつけるとかです。だからもう少しローコストで、宇和島市のような、今後の活用に無理のない文化財も、展示することを検証して、皆さんにお考えいただいたらいいんじゃないかなと思った次第です。 ・その方が、常設に入られた方も喜んで、次はお金を払って有料のエリアに入っていこうじゃないかという方も増えると思います。 ・他、この計画について何かご意見、ありましたら、お願いします。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・広場のことについてお聞きしたいのですが、例えばキャッチボールとか、サッカーとかそういったことが、許されているか、今度新博物館が完成した時に、市民が集まって運動とかできるのかどうかを教えてほしい。 ・建物にボールがぶつかったり、竹を折ったりする事があれば困ると思うので。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ある種イベントが行われるときについては少し制限を設けるのが必要なのかなということ、それから、今ご心配いただいた建物に、ボールが当たったなど、何がしかのことがあってはならないことだと思いますので、一定程度の制限というのは必要になってくるとは考えております。 ・原則としては、今と同じく、憩いの広場的に、ご自由に散歩もキャッチボールもできるような形は残したいなという希望は思ってます。これについては、今の麒麟公園がなくなるということに関していろいろとご意見もいただいております、そういう方々への一つの答えとして、今まで通りに利用できる。というふうに考えております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他何かございますか。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画では、博物館から宇和島城を眺望できるという項目がありましたが、この内容だと、天赦園からは眺望できるみたいですが、博物館の中からはどうなのでしょう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の、藤棚テラスというところがあります。シミュレーションをしてみたら、東高校の木立ちの間から見えると思います。 ・天赦園側については、グランドレベルからでも綺麗にお城が望めます。 ・新博物館の入口へ、提案の藤棚テラスの動線が北側に向いてしまうので、どうしても東高校に近くなる。 ・この辺りなら見えるのだけど、そうなるとこの藤棚カフェとの連動性がなくなるというところでは、今後の検討課題の一つになります。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・次、よろしいでしょうか。

- A 委員
- ・ ちょっといいですか。この設計をみると2階でしたが、この提案が最終ではないのでしょうか。そのあたりは、どう考えているのですか。
- 事務局
- ・ 今回はプロポーザルということで、要は相手を決めるだけの審査でございますので、今、ご覧いただいた建物が、そのまま建つということは全くありません。もしかしたら、全然違うこともあるということも考えられますことをお含みおき下さい。その場合、予算が基本であると思います。
- 委員長
- ・ だからこの提案のコンセプトが大事で、仕様書を含めて様々な意思が出ているのは、津波対策も含めて、今後変更があるということですね。
- 事務局
- ・ 今おっしゃった津波対策で、やっぱり3階建てにして、1階はピロティにして、という可能性も十分でございます。それは今からの協議だにご理解いただければと思います。
 - ・ 審査委員の先生が専門的に突っ込んだ質問をされて、防災に対する対応は、各社とも、きちんと検討しておられます。それぞれ最適な回答を出しております。
- 委員長
- ・ 今後、これから具体化していく中で、この建替委員会で、また要望を含めて、ご意見を出す機会もあろうかと思います。そういうことでよろしいですね。
- 事務局
- ・ 先ほどご紹介させていただいた審査委員の中に、防災が専門の先生がいましたので、その方から、かなり厳しいご意見が出ていまして、そこは当然含めて進めていくということでした。
- 委員長
- ・ では次の、議題に移ってよろしいですか。

事務局

- ・ 2 番目の展示設計業務のプロポーザル審査会について、ご説明をします。
- ・ 展示設計について、令和 3 年 8 月 6 日金曜日に、展示設計業務のプロポーザル審査会を実施しました。

(事務局より資料内容は H P 公開のとおり)

委員長

- ・ ありがとうございました。ここの展示内容について、各委員さんから何かご意見等ございますでしょうか。
- ・ 無いようでしたら、まず、私からいいですか。

事務局

はい。

委員長

- ・ 良い展示利用を作り上げてくださったらいいなと思うのですが、やっぱり一番気になるのは、展示デザイナーさんたちというのは、必ずお仕事の中で、報酬を得るために無駄なデザインをするから、そうならないように、ぜひ、直接担当者であるところの行政の方がそこをちゃんとハンドリングしていただきたいなということが一つ。
- ・ 普段、学芸員が一生懸命展示物を並べて配置してって事を考えて、展示室の動線に関わる展示ケース、展示のための照明とかにお金をかけた方が、いろんなディスプレイを配置したり、VRを作ったり、あとのメンテナンスも含めて、本当に必要なのか検討いただきたい。

事務局

- ・ ありがとうございます。

委員長

- ・ 他の方がいかがでしょうか。大丈夫ですか。

各委員

- ・ はい。

委員長

- ・ よろしいですか。それでは、つぎを事務局お願いします。

事務局

- ・ 3 番目の設計支援業務 C M 業務のプロポーザル審査会について、ご説明をします。
- ・ 展示設計について、令和 3 年 9 月 9 日木曜日に、展示設計業務のプロポーザル審査会を実施しました。

(事務局より資料内容は H P 公開のとおり)

委員長

- ・ C M って何かというご説明をいただいた方がいいと思います。

事務局

- ・ CM、コンストラクション・マネジメントの説明について、常に発注者、この場合はもちろん宇和島市ですが、宇和島市、しいては宇和島市民の目線に立って、絶対的に宇和島市の見方となって建設プロジェクトを進めていく、そのための専門家がそれぞれの分野についている、というものです。説明資料に品質・コスト・スケジュールの透明性とありますが、このことが主題であろうかと存じます。
- ・ 品質・コストにつきましては、よく VE (バリューエンジニアリング) という言葉が使われるのですが、リーズナブル、いわば安かろう悪かろうではなく、よい品質のものを安い価格で実現していく、という点が命題でもあります。
- ・ また、スケジュール管理につきましては、これまでの実績により積み上げられたデータやツールを生かしまして、マスタースケジュールの作成、マイルストーン (各論での目標やイベント)、クリティカルパス (いつまでに何を決めないといけないのか) の設定等、設計を進める上で、手戻りのない、着実なスケジュール管理をサポートして頂くこととなっております。

事務局

・宇和島市側だけでも建築住宅課、都市整備課、文化・スポーツ課伊達博物館が関わっております。また建築設計、展示設計の管理技術者もおりますし、これらの連絡調整、スケジュール・コスト管理をするのがCMということになります。先述しましたが、それぞれの専門家がバックアップとしていただいておりますし、明豊自体も博物館・美術館のCM実績もございます。実際に業務は始まっており、マネジメントツールも活用させていただいておりますが、ノウハウの都合上御紹介できないのですが、実に合理的なものだと実感しております。CMにつきましては導入が初めての事例ですので、業務実施後はその効果性についてあらためて検証する必要も、当然あろうかと存じております。

・以上がCMの提案内容の説明になります。

委員長

・ありがとうございました。ご質問何かご確認ご要望ありましたら、お願いします。

A委員

・CMの費用をざっくりでいいのですが、教えていただきたい。

事務局

・(提案上限額は)4,730万円でした。提案上限額よりは安くなりました。

A委員

・わかりました。

委員長

・他に、何かございますか。

・何もなければ、一点だけ、大丈夫でしょうか。

・基本計画基本構想を行っていた時にはトータルメディアが業務を遂行していて、委員会に対して説明もいただいていたのですが、今後、建替委員会に各業者の担当者が来て、意見交換など説明頂く機会を設けてくださるのですか。

- 事務局
- ・節目節目には行う予定です、市民に対しては来年5月に報告会も行う予定です。その前にこの建替委員会や議会でも行ってから、市民説明をしたいと思っています。ある程度できてしまうと手戻りができないので、手戻りができる状態の時に、一度チェックをかけてから、基本設計の報告会を設けたいと思います。
- 委員長
- ・可能な限り、一回で終わる話ではないので、合理的な回数の設定をお願いします。
- 事務局
- ・設計の進捗状況にもよりますが、基本設計のあらかたができて、基本設計案になった段階で一度開きたいと思います。その時は建築設計担当の隈氏にも参加いただいとっております。
- 委員長
- ・それはいいですけども、時期的にいつぐらいになりますか。
- 事務局
- ・年明け、遅くても3月を予定しています。改めてご連絡は早くします。
- 委員長
- ・年明けには開催する予定ですか。
- 事務局
- ・2月には開催する予定です。基本設計の市民説明が5月ですので、それまでには開催したい。かなりタイトなスケジュールにはなります。3月いっぱいまでに各論になる、先ほどのような意見を聞く回数は、取れても2回くらいまでだと思います。
- 委員長
- ・願うべくは、2回。一度意見集約をし、それを受けて設計会議でこう答えましたとしたいと思います。

- 事務局
- ・3月に市民説明会を公表する前に一度皆さんに確認していただいて、という予定です。スケジュール的にもきついかないという感じだと思います。またそれより前に、議会でも説明を求められております。その時に出た意見を紹介します。
- 委員長
- ・現在、委員数が少し足りないですし、これから専門的な知見が必要になってくると思います。規約に則って、委員数を補充して頂きたいと思います。そのあたり、事務局は委員の拡充ということでご検討下さい。
- 事務局
- ・わかりました。
- C委員
- ・今日の資料は持ち帰って会のメンバーに見せても構いませんか。
- 事務局
- ・はい。配布資料については構いません。基本的にHPにも各プロポーザル審査会の特定結果は公開しておりますので大丈夫です
- 委員長
- ・新伊達博物館のプロポーザル審査会の特定結果については、宇和島出身の人間としては、誇らしいなと思います。伊達博物館と宇和島の城下町としてのネームバリューが全国区にあるということです。事務局の言うとおりに、建物の構造の事を熟知しているCM業務も決まって良かったですよね。
 - ・それではよろしいですか。特に無いようでしたら、次回は、年明けに日時をお知らせ頂くということでお願いします。
 - ・それでは本日は、これで、散会と致します。
- 各委員
- ・はい。
- 委員長
- ・お疲れ様でした。ありがとうございました。